



今日のトピック グローバル・ハイールド社債市場の動向 堅調な動きのハイールド社債、高い利回りが魅力

ポイント1 ハイールド社債は堅調推移 国債との利回り格差も安定的

- グローバル・ハイールド社債のトータル・リターン指数は足元で堅調に推移しています。5月9日までの年初来騰落率をみると、世界国債が+1.8%にとどまっているのに対して、グローバル・ハイールド社債は+7.3%と大きく上昇しています。
- 社債スプレッド（社債と国債の利回り格差）は昨年、急拡大しましたが、今年の年初にピークをつけたあと縮小に転じ、足元は安定的に推移しています。

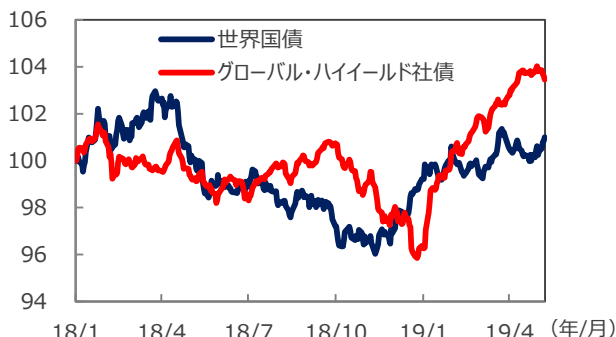
ポイント2 相対的に高い利回りが魅力 FRBの利上げ停止も追い風に

- ハイールド社債が堅調に推移している背景として、米中貿易摩擦緩和への期待感が広がったことや、米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを停止するとの方針を表明したことにより、リスク回避の姿勢が後退したことがあげられます。また、世界的にインフレが落ちついていることも追い風です。
- こうした中、相対的に利回りの高い社債への選好が強まったと考えられます。しかも、企業業績が底堅く推移し、デフォルト（債務不履行）率が低位で安定していることも、ハイールド社債への関心を高めているとみられます。

今後の展開 今後も底堅い展開が続こう

- 2019年の世界経済は、米中貿易摩擦の影響はあるものの、米国や中国を中心に緩やかな成長が続くと予想されます。米国においては、緩やかな景気拡大に加えて、インフレの落ち着きなどから、FRBはハト派的な政策姿勢を続ける見込みです。そうした中で、企業業績も底堅く推移することが予想されます。
- 米中貿易交渉の動向などには引き続き注意を払う必要がありますが、以上のような状況を踏まえると、今後もハイールド社債市場は底堅い展開が想定されます。世界的に低金利環境が長期化している中で、相対的に利回りの高いハイールド社債への資金流入が継続することが予想されます。

（ポイント）【ハイールド社債のパフォーマンス】

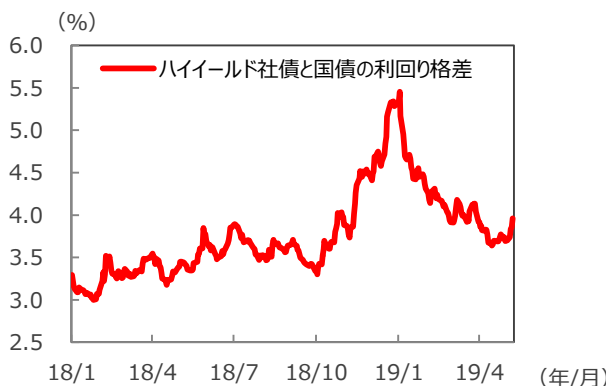


（注）データは2018年1月2日～2019年5月9日。
2018年1月2日 = 100として指数化。

世界国債はFTSE世界国債インデックス、グローバル・ハイールド社債はBloombergバークレイズグローバル・ハイールド社債指数。

（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【ハイールド社債と国債の利回り格差】



（注）データは2018年1月2日～2019年5月9日。

Bloombergバークレイズグローバル・ハイールド社債指数ベース。

（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも チェック!

2019年5月 8日 世界の「投信マネー」（2019年4月）

2019年4月26日 投資環境の見通し（2019年5月号）「資本フローに変化の兆候？」

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。